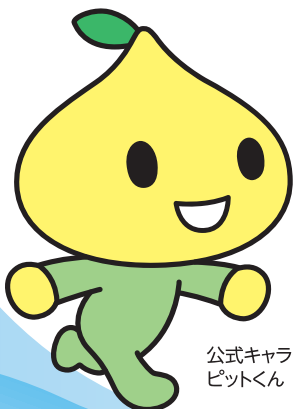


2023年版 こくみん共済 coop ガイド



公式キャラクター
ピットくん



ピットネネ

みんなでたすけあい、
豊かで安心できる社会づくり

たすけあいの輪をむすぶ

中期経営政策 2025



こくみん共済
全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

誰もが安心して暮らせる社会をつくりたい。

1954～



たすけあいの輪の始まり

働く仲間の共済が始動。
大阪で火災共済事業をスタート。

火災共済事業を開始した当初の「火災共済のしおり」

1980～



自然災害に対する 公助の整備に挑戦

「被災者生活再建支援法」
成立を実現。

「被災者生活再建支援法」成立に向けた演説活動の様子

誕生

全国統合へ

幅広い保障分野へ

1954 火災共済の誕生

～誰もが入れる保障があれば安心して働ける～

1954年12月、大阪労済で火災共済事業を開始。
その後、新潟、富山、長野、北海道、群馬、福島でも労済が発足し、
全国に広がりました。

1955 新潟大火の発生

～借金はいつかは返せる。失った信頼は永久に取り戻せない～

新潟では労済発足のわずか5ヵ月後に新潟大火が発生。
集まった掛金を上回る共済金の支払いという困難に直面しましたが、
労働組合の支援などによりお支払いすることができました。
これを契機に共済事業の全国組織化への動きが起こりました。

1957 全国労働者共済生活協同組合連合会(労済連)の誕生

～「こくみん共済 coop」のはじまり～

大きな災害が起こっても、より確かな安心を届けられるように。
全国各地の労済生協が集結。

1962 総合(慶弔)共済の誕生

1965 団体生命共済の誕生

～働く仲間のたすけあい～

高度経済成長のもと、死亡保障に対するニーズが高まる中、
働く仲間のたすけあいの象徴となる商品が誕生しました。

1967 交通災害共済の誕生

1976 全国統合を実現

1980 自動車共済の実施

「生活保障設計運動」のスタート

1983 こくみん共済の誕生

～職場で培ったたすけあいの仕組みを多くの生活者に～
こくみん共済 coop のブランドを代表する商品が誕生。

1988 せいめい共済・総合医療共済の誕生

1990 終身共済の誕生

1991 指定整備工場制度のスタート

1992 地域貢献助成事業のスタート

「全労済文化フェスティバル」のスタート

1995 阪神・淡路大震災の発生

～一日でも早い共済金のお支払いに向けて～

見舞金をより多くお支払いできるよう「地震等見舞金制度」の
支払基準を緊急改定。
被災された多くの組合員とご家族の生活再建を支援するため、
全国の役職員が被災者の対応に奔走し、
約186億円の共済金・見舞金をお支払いしました。

1996 車両共済の誕生

1997 自賠責共済の実施

1998 「被災者生活再建支援法」成立

～自然災害に対する公助の整備に向けて～

日本生協連、連合、兵庫県、協力団体などとともに「自然災害に対す
る国民的保障制度を求める国民会議」を発足。
約2,500万人の署名を集めて政府に働きかけた結果、1998年に
「被災者生活再建支援法」が成立しました。

こくみん共済 coop SDGs行動宣言

当会は、創立以来、組合員・協力団体・労働組合組織・協同組合組織などの仲間とともに、共済の普及と社会課題の解決に取り組み、「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」を進めてきました。これは、誰一人取り残さない社会づくりをめざす、SDGsに通じるものです。格差の拡大や大規模自然災害の増加、新型コロナウイルスによる感染拡大など、取り巻く環境が厳しさと難しさを増すなか、たすけあいの輪をむすぶ私たちの役割と期待をあらためて認識し、SDGsの達成に貢献します。

創立以来、私たちの変わらぬ想いです。

2000～



自然災害に対する 自助の仕組みづくり

風水害・地震などに対する
生活再建を支援するため、
自然災害共済を開発。

2020～

こくみん Lifeサポート



「新しいたすけあい」の 創造・実践

もしものときだけでなく、
いつもの暮らしにも安心と豊かさを。
「こくみん Lifeサポート」をスタート。



次の50年にむけて

豊かで安心できる社会にむけて

2000 自然災害共済の誕生

阪神・淡路大震災を経験し、大規模災害時に、
組合員の生活再建を支える保障制度の整備が課題に。
「被災者生活再建支援法」(公助の仕組み)の成立に加え、
生活再建に向けた「自助」を支えるため、自然災害共済を開発しました。

2001 介護保障付総合医療共済の誕生

2007 創立50周年

～将来にわたり変わらぬ価値観を、組合員の皆さまと共有していくために～
こくみん共済 coop の理念を制定しました。

2008 社会貢献付 エコ住宅専用 火災共済の誕生

～大切な環境を、未来に残していくために～

環境に優しい住宅の普及と、環境活動団体への支援を通じて、
地球環境保全に貢献する商品の提供を開始しました。

「ぼうさいカフェ」のスタート

～「楽しく、分かりやすく」防災・減災の普及啓発を～

子どもから大人までご参加いただける防災・減災の普及プログラムを
全国各地で開始。

2009 いきいき応援の誕生

～健康上の不安を抱える方にも安心をお届けするために～
ご加入いただきやすい商品の提供を開始しました。

2010 自然災害共済「大型タイプ」の誕生

2011 東日本大震災発生

～最後のお一人まで～

のべ3万5,685名の役職員を動員し、被災者の生活再建に向けて総力を
あけて取り組みました。
お支払いした共済金・見舞金は約1,289億円になりました。

「住まいと暮らしの防災・保障点検運動」の全国展開

～組合員の皆さまの住まいと暮らしを守るために～

「備える」「守る」「再建する」の3つの視点で防災・保障点検運動を展開。

2015 住まいる共済の誕生

火災共済・自然災害共済をフルリニューアル。

2017 創立60周年

2019 新ブランドのスタート

組合員・社会からより親しまれ、
愛される存在となるために、新愛称を設定。

全労済から
こくみん共済へ
全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

2020 SDGs行動宣言を策定

2021 「これからの防災・減災プロジェクト」を始動

東日本大震災から10年。
創立以来、多くの自然災害と向き合ってきた経験・教訓を糧に、
安心のネットワークづくりへの挑戦をスタート。

2023 「こくみん共済 coop 公式アプリ」

「こくみん Lifeサポート」の提供開始

こくみん共済誕生40周年を機に、組合員にさらなる安心と豊かさ
をお届けしていくため、新たな組合員サービスの提供を開始。

① 共済を通じた安心の提供

より良い共済・サービスの提供と、一人ひとりに応じた生活保障設計を通じて、組合員と家族の安心を提供します。



④ 防災・減災の取り組み

台風や地震など大規模災害の発生から、組合員を守るため、
防災・減災の普及と社会インフラづくりを進めます。



② 環境保全の取り組み

気候変動を抑制し、豊かな環境を守るため、省資源・省エネルギーに取り組みます。また、環境保護への支援を強化します。



⑤ 共創による社会づくり

人々が暮らし働く地域社会に根ざし、たすけあいの輪をむすび、誰もが活躍できる社会づくりを進めます。



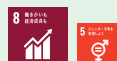
③ 子どもの健全育成の取り組み

子育て支援、交通事故抑制、健康増進の取り組みにより、貧困の連鎖に歯止めをかけ、子どもの健全な育成を進めます。



⑥ 魅力ある組織づくり

環境変化に積極的に挑戦し、あたらしい協同の仕組みを創造する魅力ある組織づくりを進めます。



1 こくみん共済 coop の組織と運営

こくみん共済 coop は共済事業を行う協同組合

こくみん共済 coop (以下「当会」といいます)は正式名称を「全国労働者共済生活協同組合連合会」といい、消費生活協同組合法にもとづき、厚生労働省の認可を受けて設立された、共済事業を行う協同組合です。

「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」という理念のもと、たすけあいの仕組み「共済」を通じて、人と人との「たすけあいの輪」をむすび、「安心のネットワーク」をひろげていきます。

理念

組合員の皆さまと共有すべき、当会の変わらぬ価値観です。

みんなでたすけあい、
豊かで安心できる社会づくり

信条

理念実現に向けた役職員の行動規範です。

組合員の こくみん共済 coop
正直な こくみん共済 coop
努力の こくみん共済 coop

〈愛称に込めた想い〉

たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済
coop

「こくみん」とは「みんな」のこと。多くの人と「たすけあいの輪」をむすびます。

「共済」とは「互いにたすけあう仕組み」のこと。必要とされる保障を、一人一人の生活に合わせて提供します。

「coop」とは「協同組合」のこと。人と人をむすび、そこに集う人たちの生活を守ります。

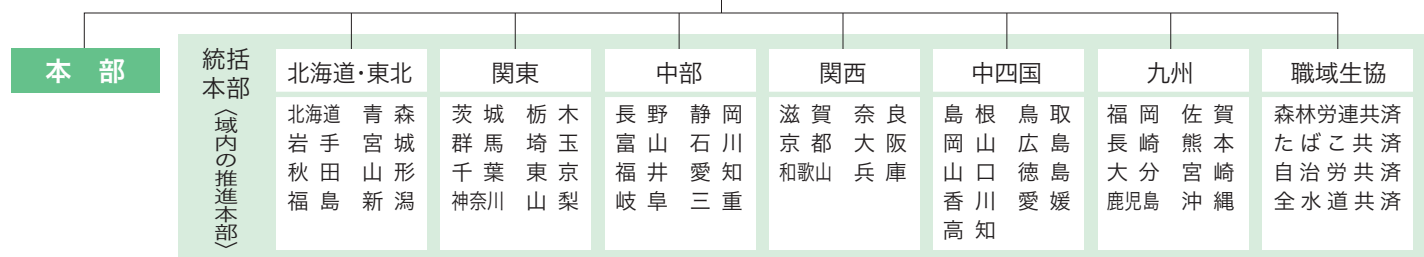
こくみん共済 coop の組織

当会は、58会員によって構成される生活協同組合の連合会です。

このうち51会員は、単一事業体として運営を行っており、本部と7統括本部で構成されています。

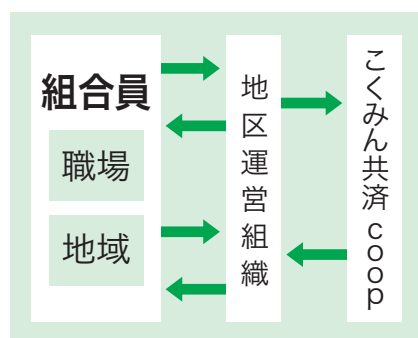
こくみん共済 coop

(2023年10月1日現在)



組合員と運営組織

組合員が職場や地域において、それぞれの運営組織に参加しながら、当会の運営を支えています。



組合員

出資金をお支払いいただき、当会の会員共済生協の組合員となることで、共済事業の利用ができます。

職場

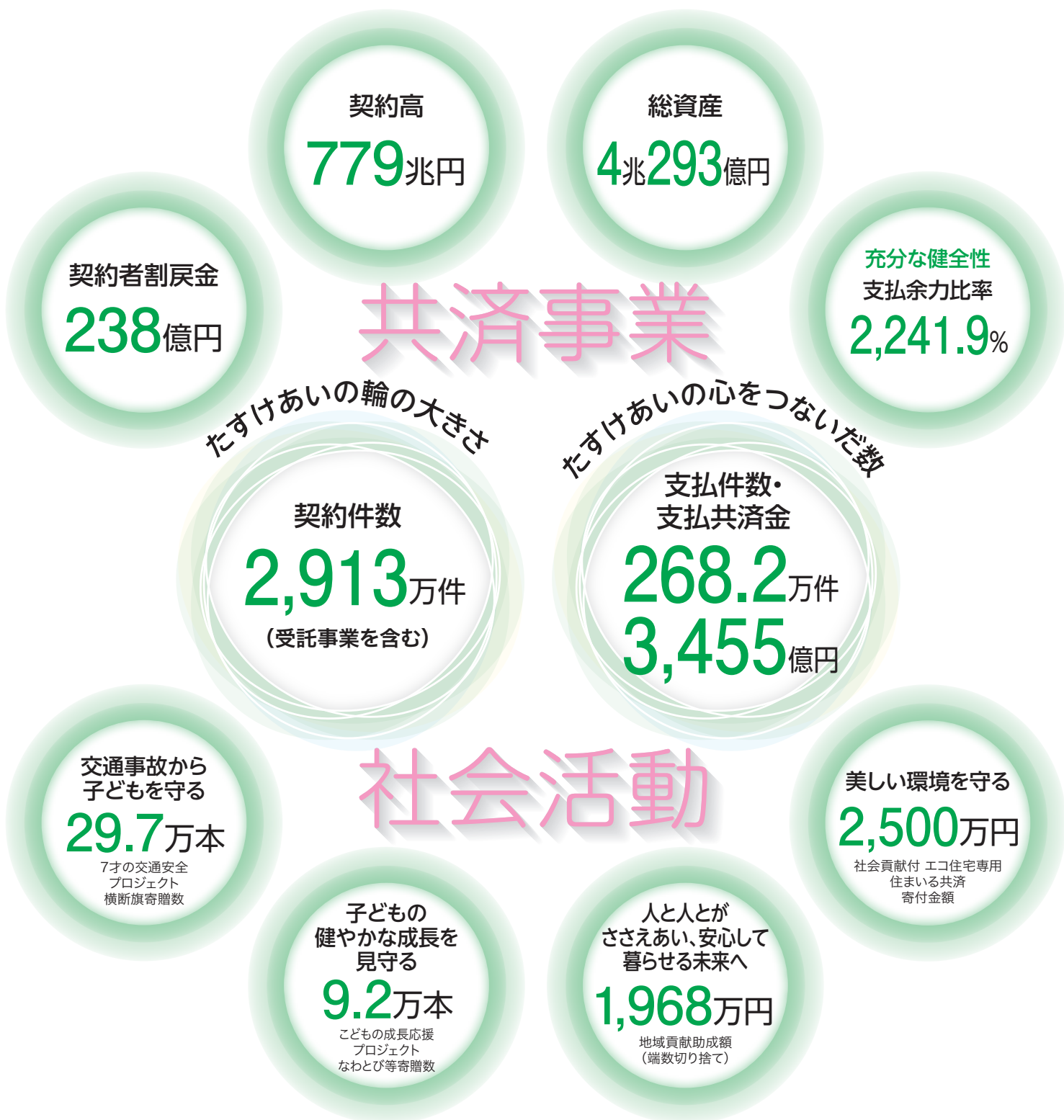
職場では、労働組合や事業所を「協力団体」という形で登録し、その組合員や従業員に対して当会の共済や活動の紹介など、各種活動を行っていただいています。各協力団体には、当会の職員が訪問し、共済に関する手続きなどを行っています。

地区運営組織

協力団体や地域推進員が中心となって、一定のエリアごとに地区運営組織を設置し、当会への意見反映が行われています(設置状況は、都道府県によって異なります)。

地域

地域では、主に生活者を対象に、当会に共感していただいた「地域推進員」の方々が中心となって、当会の共済の紹介など、各種活動を行っていただいています。また、全国の共済ショップやお客様サービスセンターのほか、WEBで共済に関する各種お手続きが行えます。



契約件数の内訳

火災共済	391万件	団体生命移行共済	6万件
自然災害共済	219万件	個人長期生命共済	66万件
交通災害共済	246万件	ねんきん共済 新団体年金共済等	75万件
マイカー共済	220万件	終身生命共済	45万件
自賠責共済	27万件	火災再共済	16万件
団体生命共済	502万件	慶弔再共済	429万件
こくみん共済	521万件	受託事業	149万件

支払共済金の内訳

火災共済	180億円	個人長期生命共済	384億円
自然災害共済	166億円	ねんきん共済 新団体年金共済等	860億円
交通災害共済	29億円	終身生命共済	205億円
マイカー共済 ・自動車再共済	489億円	個人賠償責任共済	4億円
自賠責共済	14億円	火災再共済	1億円
団体生命共済	430億円	慶弔再共済	36億円
こくみん共済 (団体生命移行共済含む)	657億円		

3 こくみん共済 coop の商品・サービス

こくみん共済 coop がお届けする安心

病気やけが、自然災害(台風・地震)など、私たちの暮らしはさまざまな「もしも」と隣り合わせです。

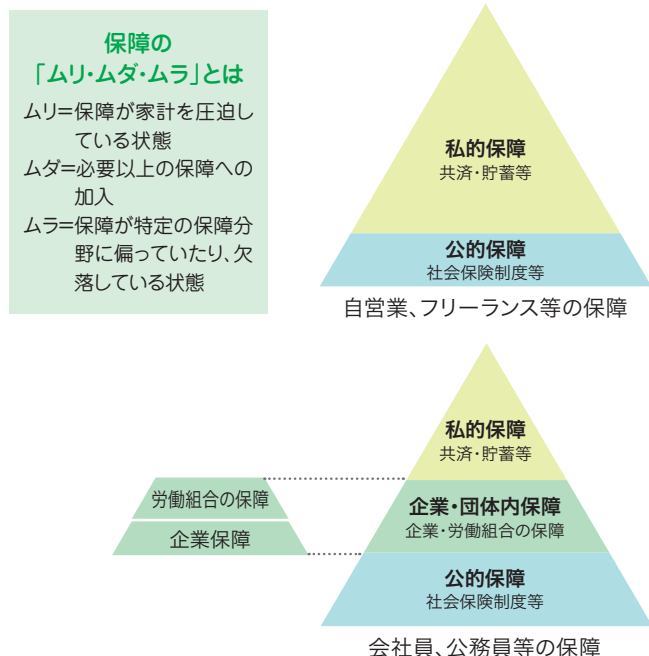
当会では、もしものときの経済的保障(共済)を中核に、一人一人の暮らしにあわせた保障設計のサポートに加え、事前の備え、事後のフォロー、生活全般をトータルにサポートする組合員サービス「こくみん Lifeサポート」を通じて、組合員と家族の豊かな暮らしを支えます。



リスクに備える保障分野と商品ラインアップ

最適な保障について

各保障分野において、万一のことがあった場合に受けられる公的保障や企業・団体内保障を踏まえ、私的保障(ご自身で準備する保障・貯蓄等)を考え、保障のムリ・ムダ・ムラをなくします。



9つの保障分野



● 人のリスク

- 01 遺族保障
- 02 医療保障
- 03 障がい・就業不能保障
- 04 介護保障
- 05 老後保障
- 06 子どもの保障・教育費



● 住まい・くるま・賠償のリスク

- 07 住まいの保障
- 08 くるまの補償
- 09 自転車・賠償補償

共済商品

団体生命共済
こくみん共済
交通災害共済
総合医療共済
せいめい共済
ねんきん共済*
新団体年金共済

※ねんきん共済の新規加入および追加加入受付は停止しています。

住みいる共済
マイカー共済
自賠償共済
個人賠償責任共済*

*単独での加入はできません。

4 社会課題への取り組み

防災・減災の取り組み



もしもフェス渋谷2022



岡山/岡山大学ダンス部による「ぼうさいPit」ダンス



福井/防災イベントにてストーリーによる耐震家作り

これからの防災・減災プロジェクト

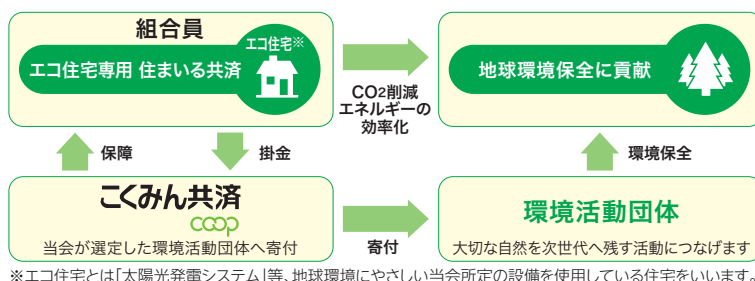
住まいの保障から事業を開始した当会は、これまでの災害対応の中で得た教訓と経験をもとに、さらなる防災・減災の普及とネットワークづくりを進めるため、2021年3月より「これからの防災・減災プロジェクト」に取り組んでいます。

環境保全の取り組み

「社会貢献付 エコ住宅専用 住まいる共済」による寄付

環境に優しい住宅の普及と、環境活動団体への寄付を通じた地球環境保全への貢献を目的に、「エコ住宅専用 住まいる共済」の契約状況・決算実績に応じた寄付を行っています。

2022年度は、総額2,500万円を寄付し、これまでの寄付金累計額は2億1,640万円となりました。



※エコ住宅とは「太陽光発電システム」等、地球環境にやさしい当会所定の設備を使用している住宅をいいます。

子どもの健全育成の取り組み

1. 「7才の交通安全プロジェクト」

子どもたちをみんなで交通事故から守るため、マイカー共済のお見積もり1件あたり1本の横断旗を、全国の小学校・児童館などに寄贈しています。

また、安心・安全なお出かけをサポートする「私のまちの7才の交通安全ハザードマップ」では、身近にある「危ない場所」や「交通安全に関する取り組みが行われている場所」がご確認いただけます。その他にも、さまざまなコンテンツを公開しています。

※2023年5月末現在、3,630の協力団体に賛同いただいています。

詳しくは
こちら



鹿児島/幼稚園での交通安全教室

2. 「こどもの成長応援プロジェクト」

子どもたちの健やかな成長を支え、たすけあいの気持ちを次の社会につなぐため、こくみん共済「こども保障タイプ」の新規加入1件につき、1本のなわとび・長なわを全国の小学校・児童館などに寄贈しています。また、子どもたちが楽しみながら体力向上を図ることができるレクリエーションプログラム「なわトレ」をホームページで公開しています。

※2023年5月末現在、3,289の協力団体に賛同いただいています。

詳しくは
こちら



なわトレ体験イベント「みんなおいでよ なわトレ広場」

さまざまな支援の取り組み

文化フェスティバル

1992年より

「文化フェスティバル」を継続的に開催



ジグジグ・ストロングシープス・グランドロマン「since1991」公演の様子

地域貢献助成

防災・減災、環境保全、子どもの健全育成に取り組む団体の活動支援



神戸市職員有志/子どもたちへ無料で学習支援を行う様子

ESG運用

環境を含む企業の社会的責任に配慮した資産運用の取り組み



2022年度はグリーンボンド、ソーシャルボンドなどを取得

誰もが安心して暮らせる社会をつくりたい。 創立以来、私たちの変わらぬ想いです。

戦後まもないころ。

はたらく仲間が少しずつ掛金を出し合って「もしも」に備えたのがこくみん共済 coop のはじまりです。

時代は、昭和から平成、令和へと移り変わり、私たちの暮らしは大きく変化してきました。

守り続けるものと、変えていくもの。

社会がどのように変わっても、変わらぬ安心と「たすけあいの輪」を守り抜き、
時代を超えて成長していく。

私たちは、これからも組合員の皆さまの
暮らしにしっかりと寄り添い、
「たすけあいの輪」をむすび続けます。

共済は たすけあう仕組み

けがや病気、事故や災害など、将来のリスクにあらかじめみんなで掛金を出し合って備える仕組みが「共済」です。
より多くの方にご加入いただけるように **掛金の手順さを大切に**しています。

“いま必要な安心” を届けています

今ある保障で足りないときには、**新しい安心をつくることにもチャレンジ**します。
例えば、阪神・淡路大震災の後には、国からの支援が必要だと考えて「被災者生活再建支援法」の成立に取り組み、社会に大きな役割を果たしました。

利益が目的 ではありません

共済は、たすけあいの仕組みなので、利益を出すことを目的にしていません。

お預かりした掛金から、組合員に共済金をお届けして生活を支え、
剰余が出れば割り戻し金としてお返しします。



CORPORATE DATA

(2023年5月31日現在)

名 称 | 全国労働者共済生活協同組合連合会
(略称:全労済 愛称:こくみん共済 coop)
創 立 | 1957年9月29日
所 在 地 | 〒151-8571 東京都渋谷区代々木2-12-10
常 勤 役 職 員 数 | 3,583名 ※他団体出向者含む
パートナー職員数 | 1,076名

たすけあいから生まれた保障の生協です

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

こくみん共済
全国労働者共済生活協同組合連合会 **coop**

〒151-8571 東京都渋谷区代々木2-12-10

